

令和4年度学校評価

本年度の重点目標	(1) 地域産業の発展に寄与する有意な人材を育成するため、地域社会及び家庭との連携を密にして、主として次のことを推進する。 ア 生徒の実態に応じて、授業改善等の指導方法の工夫に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とこれらを活用する思考力・判断力・表現力等の育成を図る。 イ 生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観をはぐくむため、就業体験などの機会を充実するなど系統的かつ計画的なキャリア教育を推進する。
	(2) 教職員一人一人が、明るく活力に満ちた職場環境づくりに努め、教育目標の達成に向け自己の能力を最大限に発揮するとともに、苦手な分野を互いに補完し合うことで学校の組織力の向上を図る。
	(3) 教職員の多忙化解消を推進する。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
管理・運営	本年度の重点目標を意識した教育活動	・諸会議や講話を利用した重点目標の意識付け	・諸会議や講話などをとおして重点目標を意識した教育活動を行う。
	教員の多忙化解消	・勤務時間の適正な管理	・学校閉庁日をはじめ、長期休業中や考査中等の年休取得の推進を図る。
総務部	防災意識の高揚	・避難訓練の充実 ・防災グッズの確認	・防災活動について主体的に考えさせる。 ・地震から身の安全を守る行動（シェイクアウト）が全員できるようにする
	広報活動の充実	・HPでの掲載回数を増やす。 ・PTA通信を充実させる。	・HPの掲載回数、写真掲載を増やし、学校情報を地域やPTAに知らせる。 ・PTA通信の写真掲載を増やすとともに、紙面の充実を図る。
教務部	新学習指導要領への対応	・新学習指導要領への理解を深める現職研修の実施	・新学習指導要領に示された評価の在り方について教員に周知し、理解を深めることで授業改善につなげる。
情報図書部	広報活動の強化	・学校ホームページ、内容を一新した学校案内の活用	・学校ホームページを定期的に更新するとともに、内容を一新した学校案内を活用し、中学校等に学校の魅力を発信する。
	ICT機器の積極的な活用	・ICT機器の利用状況を確認	・授業や学校内活動でのICT機器の活用状況を聞き取り、利用しやすい環境を整える。
	図書館利用の促進	・図書館オリエンテーションや各種企画の実施	・授業での図書館利用の呼びかけや、教科と連携した活動に取り組む。
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	・分掌や学年と連携した指導	・学校全体で挨拶の励行及び教室の整理整頓を推進し、学習環境を整える。
	規範意識の向上	・全職員の共通理解による指導の推進 ・予防的生徒指導の推進	・ICT機器利用を推進するためのルールを整える。 ・生徒観察やアンケート結果から各種委員会を開催し、問題行動等の予防を図る。
	いじめの早期発見と組織的な対応	・校内アンケートの実施 ・面談週間の充実	・校内アンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。 ・面接週間をとおして担任等と信頼関係を構築し、日頃から悩み等が相談しやすい体制を作る。
	学校行事や部活動の活性化	・生徒会執行部を中心とした学校行事の自発的運営 ・部活動所属者数の増加	・行事内容の見直しと委員会活動の推進を行なうとともに、生徒が主体的に活動する生徒会組織を目指す。 ・部活動に取り組む環境づくりと効果的な指導法を検討する。
進路指導部	社会的・職業的自立に必要な能力の育成	・講演会やインターンシップによる勤労観・職業観の育成 ・上級学校に関する情報の収集 ・進路実現に向けた基礎学力の定着	・幅広く職業を知るためにできるだけ多くの現場で働く方からとかかわる機会を作るため、インターンシップの充実を図る。 ・進学希望者に対して、オープンキャンパスへの参加などをうながし、進路意識の高揚を図る。 ・進路小テストをとおして基礎学力の定着をめざす。

保健部	健康管理に対する意識と能力の向上	・治療勧告書の配布 ・保健室だよりの発行とスクールカウンセラーの有効利用	・計画的な治療が可能になるように、検診状況に合わせた勧告書の配布を行う。 ・時期に合わせた保健だよりの発行と教員間での生徒情報の共有に努める。
	熱中症対策	・保健委員を中心とした熱中症予防意識の向上と実践	・グリーンカーテンの設置とWBGT計の活用による熱中症予防活動の定着に努める。
農場部	実験実習時の安全管理	・農機具・実験機材の整理整頓	・安全・安心な農産物の生産のため、GAPやHACCPなどの考え方を生徒の指導に活用する。また、持続可能な社会の実現に向けてSDGSの取組を始める。
	キャリア教育の充実	・検定や資格取得指導の充実	・生徒個々の顕彰獲得ポイントを把握し、生徒の指導に活用する。 ・合格率や平均点の数値目標を設定し、指導の効果を検証する。
	農業クラブ活動の充実	・競技会における効果的な指導	・各種競技会において効果的かつ継続的な指導方法について協議・実践を図り、成果につなげる。
第一学年	基本的生活習慣の確立	・あいさつの励行 ・身だしなみ指導の徹底 ・時間や期限を厳守	・日々の学校生活を通して、指導する。 ・ハンドブックをもとに基本的生活習慣の確立を図る。
	進路意識の高揚	・基礎学力の向上および将来の進路における土台の構築 ・進路目標の立案	・朝学を活用し、基礎学力の向上をはかる。 ・授業やLTなどを活用し、将来の夢を考えさせることで、進路目標を計画させる。その計画をもとに学習成績の向上や積極的な資格取得指導を推進する。
第二学年	基本的生活習慣の定着	・あいさつ、身だしなみ指導の徹底 ・時間や提出期限を厳守 ・リーダーの育成	・日々の活動を通して、指導する。 ・基本的生活習慣を確立させ、学校を牽引する生徒の育成を図る。
	進路実現に向けて	・進路目標の確立、進路の実現における情報の収集	・インターンシップ、進路LTなどを通し、進路情報を自ら調査収集できるように指導する。 ・朝学を活用し、基礎学力の向上をはかる。 ・履歴書、求人票の見方を指導し、早期に進路目標を確立できるように指導する。
第三学年	進路実現と実社会に適應できる能力の育成	・進路目標の確立、計画立案、収集 ・適切な言葉遣い、身だしなみ、提出物等の期限の厳守	・進路LT・ガイダンスを活用して進路目標等を確立させ、計画を立案し、それに基づいて情報を収集、行動できるよう指導する。 ・日々の学校生活を通し、言葉遣い、身だしなみ提出物の期限を守るなどを指導する。
	豊かな生活を築く態度の育成	・主体的な学習活動 ・資格取得やボランティア活動への参加における積極的な取り組み	・朝学を活用し、主体的に学習できるよう指導する。 ・資格取得やボランティア活動へ参加に向けて積極的な声掛けを行う。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		生徒の主体的な活動状況、情報発信の手法 保護者、地域とのつながり、部活動、農業クラブ活動 資格取得等の成果	